

令和3年度 年間授業計画

都立南平高等学校

学年 必・選	2 学年 必修選択	教科	地理歴史	科目	日本史演習	単位 数	3 単位
教科書		「詳説 日本史」(山川出版社)		使用教材	新詳日本史 (浜島書店) 詳録新日本史史料集成 (第一学習社)		
授業 担当者名							

		指導内容	指導目標	予定 時数
一 学 期	中間 考 査	第 9 章 近代国家の成立 4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達 第 10 章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制	・日露開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の動向について理解している。 ・近代産業の発展に伴う社会問題(労働・公害問題)の発生と政府の対応について考察できる。 ・近代文化の特色について理解している。 ・第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、考察できる。 ・ワシントン体制に至る国際環境の推移を、日本の立場に着目して考察できる。	18
	期 末 考 査	3 市民生活の変容と大衆文化 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦	・市民文化の特色について理解している。 ・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について理解している。 ・日本の対外政策の推移について、政党内閣の崩壊や軍部の影響力が増していく過程を考察する。 ・第二次世界大戦の学習を通して平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識している。	24
二 学 期	中間 考 査	第 11 章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和 第 12 章 高度成長の時代 1 55 年体制 2 経済復興から高度成長へ	・占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を理解している。 ・独立後の日本国内政治について、55 年体制の成立を中心に政治的な経過を理解している。 ・アメリカ・中国・韓国との関係に着目しながら、独立回復後の日本の動きを考察できる。 ・高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察できる。	18
	期 末 考 査	第 13 章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容 第 6 章 幕藩体制の確立 1 織豊政権 2 桃山文化	・高度成長の終焉後、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、多面的・多角的にとらえることができる。 ・織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について考察する。 ・桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。	27
三 学 期	学 年 末 考 査	3 幕藩体制の成立 4 幕藩社会の構造	・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。 ・江戸幕府の鎖国政策について、その影響と歴史的意義について考察する。 ・幕藩体制の確立期の経済・社会を、多面的・多角的に考察する。	18
	計			105

評価の 観点・方法	年間 5 回行う考査の得点、適宜実施する課題プリントの提出状況および授業態度を総合的に判断して評価を行う。
--------------	---